

仕 様 書		仕様書番号	T-010860C01~03		
		図面番号	T-010860C01	設 変	b
製品名	セラミックアレスタ Y20-1600A	制 定 日	2001/11/22	改訂日	2017/04/12
		作 成 部 門	営業技術部		

1. 概要

本品は、信号回路に誘起される異常電圧等から機器等を保護する素子です。

2. 外観・構造・寸法・表示

本品の外観・構造・寸法及び表示は、T-990340A01によります。

3. 定格使用温度・湿度範囲

- 3. 1 定格使用温度範囲 -40～90℃
- 3. 2 定格使用湿度範囲 90%以下（結露のないこと）

4. 定格保管温度・湿度範囲

- 4. 1 定格保管温度範囲 -40～90℃
- 4. 2 定格保管湿度範囲 90%以下（結露のないこと）

5. 電気的性能

保護性能及び電気的性能は、表-1に示す通りです。
また、試験方法および試験回路は表-3によります。

表-1 電気的性能

No.	項 目	条 件	規 格	
1	直流放電開始電圧	500V/s	1,400～1,700V	
2	インパルス放電開始電圧	10/200μs 3kV印加	≦2,200V	
3	絶縁抵抗	DC 500V	≧10,000MΩ	
4	繰り返し交流電流耐量	AC 50A 0.1秒 20回 (2分間隔)	1項	1,300～1,800V
			2項	≦2,200V
			3項	≧10MΩ
5	最大交流電流耐量	AC 100A 1秒 1回	放電すること	
6	インパルス電流耐量	8/20μs 60kA 10回		
7	最大インパルス電流耐量	8/20μs 80kA 1回		

注) 測定時の温度・湿度は、JIS Z 8703（試験場所の標準状態）に記す、常温（20±15℃）
・常湿（65±20%）によります。

6. 機械的性能

耐振性は、JIS E 3014（鉄道信号保安部品—振動試験方法）の2種による試験を行った後、外観に異常がなく、5項の電気的性能を満足します。

仕 様 書		仕様書番号	T-010860C01~03		
		図面番号	T-010860C02	設 変	b 頁 2/3
製 品 名	セラミックアレスタ Y20-1600A	制 定 日	2001/11/22	改訂日	2017/04/12
		作 成 部 門	営業技術部		

7. 検査条件

検査条件は、表-2に示す通りです。

表-2 検査条件

No.	検 査 項 目	検査の種類	検 査 方 式
1	外 観 ・ 構 造 ・ 表 示	通常検査	n = 20 Ac = 0 Re = 1
2	寸 法	通常検査	n = 5 Ac = 0 Re = 1
3	直 流 放 電 開 始 電 圧	通常検査	水準 I Ac = 0 Re = 1
4	インパルス放電開始電圧	随時検査	n = 10 Ac = 0 Re = 1
5	絶 縁 抵 抗	通常検査	水準 I Ac = 0 Re = 1
6	繰 返 し 交 流 電 流 耐 量	型式検査	n = 10 Ac = 0 Re = 1
7	最 大 交 流 電 流 耐 量	型式検査	n = 10 Ac = 0 Re = 1
8	インパルス電流耐量	型式検査	n = 10 Ac = 0 Re = 1
9	最大インパルス電流耐量	型式検査	n = 10 Ac = 0 Re = 1
10	耐 振 性	型式検査	n = 10 Ac = 0 Re = 1

通常検査の抜取方法は、ISO 2859によります。

8. 包装形態

本品は、包装袋（100個入）に入れ、さらに包装箱（500個入）に入れます。
包装袋及び包装箱には、品名、数量、Lot番号、製造社名および生産国を表示します。

9. 保証

本品の保証期間は、納入後1年とします。
保証期間内における製造者の設計または、製造上の欠陥に起因する故障が発生した場合には、その現品に限り代替品納入の処置をとらせて頂きます。

10. 環境対応（RoHS指令対応）

本製品は、EU RoHS指令（※）における規制対象物質（鉛、水銀、六価クロム、カドミウム、PBB、PBDE）に関して適用除外項目を除き、規定を超える含有はありません。
※欧州議会・理事会指令2011/65/EU

11. 環境対応の識別表示

環境対応製品を識別するため、包装袋及び包装箱に『RoHS』を表示します。

仕 様 書		仕様書番号	T-010860C01~03		
		図面番号	T-010860C03	設 変	b 頁 3/3
製品名	セラミックアレスタ Y20-1600A	制 定 日	2001/11/22	改訂日	2017/04/12
		作 成 部 門	営業技術部		

表-3 電気的性能の試験回路および試験方法

No	試 験 項 目	試 験 回 路	試 験 方 法
1	直流放電開始電圧		<p>緩やかな立ち上がりで上昇する直流電源を使用し、避雷管が放電を開始する電圧を測定する。</p> <p>電圧上昇速度：500V/sec</p>
2	インパルス放電開始電圧		<p>避雷管にインパルス電圧を印加して、放電を開始した時の電圧を測定する。</p> <p>電圧波形：10/200 μ sec 波 高 値：3,000V</p>
3	絶縁抵抗		<p>絶縁抵抗計の測定電圧をDC 500Vに設定して、避雷管の絶縁抵抗を測定する。</p>
4	交流電流耐量		<p>避雷管に交流電流を規定の時間、回数を通電する。</p>
5	インパルス電流耐量		<p>電極間にインパルス電流波形を規定回数印加する。</p>